

令和2年度 福祉・勤労者支援事業部活動報告

今年度の研修会を、下記の通り開催いたしました。

日時：令和3年1月24日（日） 10：30～15：00

場所：広島県健康福祉センター

講演1

演題 『 生活習慣病の発症、重症化を予防する With Corona時代のNew Normalな生活様式
～日本人の健康の大原則、古くて新しい減塩を踏まえて～ 』

講師 日下医院 院長 日下美穂先生

講演内容

コロナ禍等、有事の際には食塩感受性が上昇する為、日常生活習慣がより大切になってくる。塩だけでも血管内皮を傷つける事がわかってきている。ソルトコンシャス（塩を意識）を心がけ、減塩を求めている風潮を出していく事が大切。先生は企業を立ち上げられて、民間企業から世の中に働きかけをする仕組みを作り、減塩食を提供するレストランや、減塩給食を提供する小中学校給食を実現されている。私たち栄養士も出来る事から声を上げる事で、家族、患者様、そして国民の皆様の健康に繋がる事を学びました。



講演2

演題 『 介護報酬に沿った栄養ケア・マネジメントの基本 』

講師 特別養護老人ホーム 松林荘 石村 敦志先生（日本栄養士会 委員）

講演内容

地域包括ケアシステムの推進において、介護保険施設の管理栄養士には、適切な栄養ケア・マネジメントを円滑に運営するスキルが必要となる。対象者の栄養状態を改善し、QOLを向上させるため、科学的根拠に基づいた栄養ケア・マネジメントの過程を基礎から学んだ。事例をもとに、他職種連携により、栄養計画立案し実施するという日々の業務に活かせる演習であった。

来年度の介護報酬改定についての情報提供もいただき、たいへん有意義な講演であった。

